

平成30年度 10 月期居宅介護支援部会議事録

書記	青木
文責	鵜沢

開催日時	開催場所
平成30年10月22日(月) 18時00分 ~ 20時00分	こども支援センターげんき5階研修室3

出席者・講師など	
居宅介護支援事業所 72事業所 90名参加	博慈会医療連携患者支援センター 課長 坂本知幸氏

次第

- 挨拶 居宅介護支援部会 鵜沢部会長
- 講義 シリーズ医療連携① 病院から在宅 ~病院機能を知ろう 退院時の医療連携~
- 事務連絡

議事

1.挨拶

鵜沢部会長より

生活援助の届け出について、10/26に集団指導内で説明がある。届け出は利用（給付）を制限するものではない。

基準緩和型訪問介護は来年4月をめどに開始となる。訪問介護部会・地域包括・居宅部会と協議を重ねて今年度中には詳細や研修予定が出る。

2.講義

シリーズ医療連携①病院から在宅 ~病院機能を知ろう 退院時の医療連携~

講師： 博慈会医療連携患者支援センター 課長 坂本知幸氏

- ・急性期の定義 病状が急激に現れる時期のことである。
- ・入院費 出来高方式とDPC方式がある。
- ・病院機能別の在宅復帰の流れ
- ・回復期の定義 患者の様態が危機状態（急性期）から脱し、身体機能の回復を図る時期である。
- ・地域包括ケア病棟の期待される役割 ポストアキュート機能 サブアキュート機能 在宅復帰支援
- ・回復期リハビリテーション病棟
- ・慢性期の定義 病状は比較的安定しているが、治癒が困難な状態が続いている時期のことである。
- ・医療療養病床における医療区分
- ・介護医療院
- ・地域医療連携室 MSWの業務内容 入退院支援

3.事務連絡

次回開催予定

日時：平成30年11月26日（月） 18時00分~20時00分

会場：こども支援センターげんき5階研修室3

テーマ：シリーズ医療連携②

認知症疾患医療センターの役割とアウトリーチ

初期集中支援チームについて~ケアマネジャーがすぐ使えるテクニック~

講師：東京都認知症疾患センター 大内病院 看護師 北村伯子氏

4.その他

病院機能（どの入院料を算定しているのか）は、以下のホームページを御覧ください。

○関東信越厚生局ホームページ

保険医療機関・保険薬局の施設基準の届出受理状況及び保険外併用療養費医療機関一覧

<https://kouseikyoku.mhlw.go.jp/kantoshinetsu/chousa/kijyun.html>